

質問4. ジェンダーについて(自分で記述する)

回答者 番号	自分で記述する(Self-describe) 記述
	記述なし

質問5. 所属する学会について〈複数回答可〉(その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本獣医学会
※	日本植物学会
※	CBI学会
※	CBI学会
※	植物化学調節学会
※	日本化学会
※	日本線虫学会
※	日本ユスリカ研究会応用動物昆虫学会極限環境生物学会日本バイオインフォマティクス学会
※	ゲノム編集学会, 日本育種学会
※	日本RNA学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本がん予防学会日本放射線影響学会
※	日本RNA学会
※	日本実験動物学会
※	日本薬学会
※	基礎老化学会
※	Yeast genetics society of Japan
※	CBI学会
※	日本内分泌学会日本糖尿病学会
※	日本がん分子標的治療学会
※	日本内科学会、日本神経学会

質問6. オンラインポスター発表について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.よかった

2.よくなかった

3.オンラインポスター発表には参加しなかった

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
		記述なし

質問7. 指定シンポジウム(135分・8件)について<複数回答可>(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	1/2/3	内容は面白かったが、発表時間をオーバーする方がいた
※	1/3	少し長く感じた。
※	2/3	シンポジウムが長すぎると感じた。
※	3	参加していない

質問8. 公募シンポジウム(135分)・ミニシンポジウム(80分)について<複数回答可>(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	1/2/3	内容は面白かったが、プログラムにずれが生じていた場合があった
※	2/3	あまりに一人当たりの講演時間が短すぎるセッションがみられた。
※	1/3	ポスター選ばれて口頭発表をしたが、発表時間8分では研究成果についてほとんど話せなかった。
※	1/3	135分は少し長く感じた。
※	2/3	長すぎると感じた。
※	2/3	ごくわずかではありますが、数年前に伺った発表内容とほぼ同じことを発表されている方がいらっしゃいました。もしよければ、そういった方の発表を別の方に回す、もしくは、若いスタッフの方が発表するように指定し発表機会を設けるなどすればいいかなと思いました。
※	3	I don't think a mini-symposium was necessary. I think Science Pitch should be on the agenda.

質問9. 公募シンポジウムの企画応募条件に「指定演者のうち70%以上を特定のジェンダーとしない」が入っていたことについて〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

- 1.賛同し支持する 2.理解はするが適切か疑問が残る 3.適切でないと思う 4.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	4	どちらでもよい
※	2/4	あくまで企画に発表内容に沿っているかを理由に選ぶべきではないかと感じます。
※	4	この条件に関して、本アンケートで初めて知ったが、なぜこのような要件を設けているのか理由が気になった。私個人としては必要ないように感じる。
※	2/4	サイエンスにおいてジェンダーは関係ないと思います。
※	2/4	現実として研究者全体のジェンダー比率が7:3よりも偏っている中で、わざわざ7割と設定するのは研究業界でのアファーマティブアクションとして不適であるように感じる(一方で割合を50%にしなかった点は良かったと思う。)。時代として難しい点があるのは理解するが、ジェンダーを理由に機会そのものの平等性が担保できなくなるのは疑問が残る。
※	4	意味不明

質問10. オンサイトのポスター発表について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3	不参加
※	2/3	連番指定で投稿して採択したにも関わらず、掲示場所としては離れた位置となり、連番で採択された意味が感じられなかった
※	2/3	要旨での賞対象の判断は適切ではないと感じた。対象でなくとも非常に魅力的でありかつ見栄えの良いポスターが多くあった印象
※	1/3	受賞できて非常に光栄に感じた。
※	1/2/3	・ポスター賞は要旨の事前審査でふるいをかけるのではなく、当日のポスター内容も審査対象として欲しいと感じた。あるいは、透明性の観点から要旨の事前審査の結果も公表すべきでは、と感じた。・昨年まで行われていたサイエンスピッチのようなショートトークも、ポスター賞の評価対象に含めた方が良かったのではというだけでなく、より議論を活性化させるためにも行われた方が良かったと感じる。・今年はグラフィックアブストラクトも任意だったので、ポスターセッションに入る前の聴衆の興味を惹きつける材料が少なかったように感じる。・ポスターの分野分けについて、会場の標識に番号とともに書いてあったら良かった。
※	1/3	ポスター賞の候補の決定を学会前にお知らせするのは、ポスター作成のモチベーション低下につながるのではないかと思ったため、お知らせする必要はないと思う。
※	3	参加しなかった。
※	2/3	場所が2ヶ所に分かされると移動が面倒臭い。
※	1/3	みじかかったかも
※	2/3	やや短かった。
※	1/3	ポスター番号と、カテゴリも掲示されていたら興味のある演題が探しやすいと思った。
※	1/3	あまりにも演題が多く、興味があるポスターを探すのが困難だった。
※	3	Time seemed short in comparison to the number of posters. Odd session should be forcibly stopped to give the chance to the even number of posters.
※	3	オンライン参加のため見られなかった
※	3	ポスター賞の選考・受賞基準がわからない。学生からすると奨学金においてポスター賞をアピールポイントとするため、もっと明確な基準を作って、学生にも理解してもらえるようにするべきだと感じた。

質問11. 各日のタイムテーブルについて〈複数回答可〉(その他)

※英語のシンポジウムを全日程に配置、シンポジウムの時間帯は常に日本語/英語セッションが並行

※シンポジウム(135分)の前にミニシンポジウム(80分)を配置

※オンサイトポスター発表は午後一番の時間帯

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3	マリメッセと国際会議場の移動を急ぐ必要があり不便でした
※	2/3	英語のシンポジウムが多かったが、専門外の方が多く参加する本会においては英語の専門用語は理解されづらい傾向にあるのか、押し並べて質問が出にくかったように感じた。実際自分も理解が難しかった。ポスター発表後のミニシンポジウム前の時間がほとんどなく、最初の発表が聞けない場合があった。さらに、発表途中で入室するためか、後ろの方の席だけ埋まって立ち見の人が多く状態も散見された。
※	2/3	夜18時くらいに終わらないと夕飯や帰宅に支障があった
※	2/3	ポスターが一番最後の時間の方が、シンポジウムを聞いてからポスターをでディスカッションが出来て良いのではないか
※	2/3	最終日まで夜8時半となると飛行機に間に合わない。

質問12. フォーラムについて<複数回答可>(その他)

【回答項目】

1.よかった

2.よくなかった

3.フォーラムには参加しなかった

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
		記述なし

質問13. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて〈複数回答可〉(その他)
 ※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索/視聴サイトシステム
 ※オンラインポスター・講演セッションはZoomウェビナー使用

【回答項目】

1.不便を感じず年會に参加できた 2.不便を感じるこゝがあつた 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3	短時間で勝手にログアウトされてしまい、何度もログインし直すのが面倒だった。
※	2/3	confitがたびたびログアウトして、ポスター会場でブックマークした発表演題を確認するのに手間取つた。これでは結局印刷物なり、手書きのメモが必要になってしまう。pdfで自分用のプログラムを出力することもできるのは知っていたが、随時更新するには全く向いていない。
※	2/3	各セッションの詳細なページに進み、リロードや戻るを行うとレイアウトが崩れてしまうことや戻るページが希望するページではないなどがあつた。
※	2/3	プログラムが検索しにくかつた。
※	1/3	昨年までのシステムより、Confitの方が操作感として使いやすかつた一方でキーワード検索などは劣っている気がしたまた年会HPからConfitへの誘導が足りなく、辿り着けていない学生などがいた
※	2/3	ページの行き来が手間に感じる時があつた。
※	2/3	分かりにくい、使いにくい、user friendlyではない
※	2/3	参加登録とプログラム閲覧のサイトが別々なことに戸惑つた。プログラムの閲覧はしやすかつたが、やはりスマホでプログラム一覧をみるのは難しいので冊子が必須だと思つた。冊子とプログラムサイトでシンポジウム名が違つて少し探しにくかつた。
※	2/3	見たい講演をブックマークできたのは便利だつたが、ソート機能がなく、特に会期後半のセッションはかなり探すのに時間がかかつた
※	3	要旨閲覧はできなかつたマニュアルに従つたが閲覧はできなかつた
※	3	参加しなかつた。
※	2/3	要旨検索システムに不便を感じました。自分の認識に間違いがあれば大変恐縮なのですが、要旨を確認する際に容量の大きなPDFファイルから探さなければいけない点に不便を感じました。また、ポスター発表のタイトルをざっと見したいときに画面上でスクロールしなければいけない点に不便を感じました。Q14とも関連しますが、プログラム集冊子もしくは前年度の形式のサイトの方が不便が少ないように感じます。

質問15. 経費節減のため参加章・ポケットプログラム(日程表などのプログラム小冊子)の事前送付を行わなかったことについて<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1.特に手間や不便さを感じなかった | 2.年会参加費を抑えるためなら許容できる |
| 3.年会参加費が多少上がっても事前に印刷・郵送してほしい | 4.その他 |

回答者番号	回答	その他記述
※	2/4	プログラムは手元のデバイスで閲覧するため、不便ではなかったが、参加章の印刷が手間だった
※	1/4	紙ベースの資料は少ないほうが良い。物理的に収容場所をとるし、年会運営コスト削減になるのであれば不要と考える
※	2/4	自分が見逃していたかもしれないが、ポケットプログラムを会場で配布するならその旨を事前にお知らせ願いたい。同じ内容のものを印刷して持ってきてしまったため。

質問19. 分子生物学会では「学会・年会の国際化」を促進しています。そのために、100～200万円程度を年会の特別予算として用いるとしたら、どのような使途がよいと思いますか<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.海外機関と連携して年会参加者向けの実用的な企画を行う費用
- 2.公募シンポジウム等で海外演者を招聘する際の旅費補助増額
- 3.海外在住の若手会員へ年会旅費を援助
- 4.講演セッションの通訳・字幕サービス等の言語サポート費用
- 5.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3/5	研究者同士の交流のために対面で話せる機会が増える施策に投じるべきだと思う
※	5	すでに行われているかもしれませんが、被災地からの参加者の参加費の支援
※	1/2/3/5	海外の若手研究者(大学院生、ポスドク含む)の講演が聞きたい。

質問21. 今後の年会の開催形式について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

- 1.オンサイト開催を基本としたハイブリッド開催がよい
- 2.オンライン先行プログラム+コンパクトな完全オンサイトの併用がよい(MBSJ2023神戸年会形式)
- 3.完全オンサイト開催がよい
- 4.完全オンライン開催がよい
- 5.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/5	講演会場が満員で入れなくても、配信で見られるのがよかった。

質問22. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1. 単独開催/他学会と連携企画/他学会との合同大会が、数年ごとにあるのがよい
- 2. 他学会との連携企画を増やすのがよい
- 3. 他学会との合同大会を増やすのがよい
- 4. ConBio2017の時のような、コンソーシアム形式の合同大会がよい
- 5. 他学会との合同開催・連携企画の必要性をあまり感じない
- 6. その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	5/6	同時に見ることは結局できないので、演題ばかりが多数並行するのは困る大規模すぎるのはどうかと思う
※	6	特に希望はない

質問23. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	交通の便が悪かった点は残念でした。ほかは概ねよかったと思います。会の運営お疲れさまでした。ありがとうございました。
※	普段関わることがない分野知ることができてとても知的好奇心がわいてとても充実した学会でした。シンポジウムもとても自由で創薬の問題を解消するために色々なアプローチがあるのだと自分の視野が広がったいい機会でした。1つ意見があるとすれば、シンポジウムが学生を歓迎しているのかを何かしらの形で記してほしいです。教授と学生の間では明確に知識に差があります。学生でもわかりやすいように背景などを丁寧に説明してくれる発表がある一方、ある程度知識がある前提の教授に合わせている発表は何を言っているのか分からなかったです。最後にこの学会を開いてくださりありがとうございました。
※	初参加だったため、最初はプログラムの見方やランチョンセミナーのシステムなどがわかりませんでした。慣れると見やすかったです。セッションの内容も興味深い内容が多かったです。他に、会場のWi-fiの接続が悪くなってしまったのと、使用可能なコンセントがなかったのが困りました。
※	海外研究者の知り合いの多くが、日本人以外には案内やプレゼンなどが不親切だと話していました。海外コミュニティにも留意した運営がなされるとよりよいかと思いました。
※	規模が大きいので、なかなか興味がある範囲でも全てを網羅することは難しい。ただ、参加するたびにとても興味深い研究の数々に驚かされるとともに刺激にもなっている。学生として参加するのは今回が最後であるが、今後もぜひ参加していきたいと思う。年会全般としては、今回が特別不便だったということではないが、会場のアクセスのしやすさ(駅の近くにあるなど)は結構重要だなと感じた。朝は9時開始となると、なるべくアクセスのしやすい会場であると助かると思った。
※	ミニシンポジウムの内容に少し偏りがあるように感じた。すべてのシンポジウムの時間帯で分野を満遍なくしてもらえればすべての時間で楽しめたかなと感じた。
※	福岡国際会議場へのアクセスが悪いと感じたので、今後またこの会場での開催がある際には対策を行っていただけるとより快適に参加できると感じました。
※	プログラムが見にくい。冊子とWebプログラムでタイトルが違うため、検索しにくい、興味ないプログラムに行ってしまうリスクが増える。タイトルぐらいは省略せずに冊子に乗せてほしい。また、冊子には発表者名と各発表タイトルを乗せてほしい。会場内でいちいちWebプログラムにアクセスしなければならなかったのは煩わしかった。その都度、IDとパスワードを求められるので使い勝手が非常に悪かった。せめて会場WiFi経由のアクセスはパスワード認証なしでプログラムにアクセスさせてほしい。会場WiFiのIPアドレスのみを対象に認証なしにするようにシステムを組めば可能である。その分セキュリティリスクが上がるが、会場WiFiにパスワードを施せば、リスクは軽減される。
※	オンサイト会場内の椅子の数をもう少し増やしてもいいのではないかと立ち見や会場の外から聴講している人が目立った
※	初めて参加したがかなりボリュームが多く、全てを満喫するのは難しい年会だった。企業展示ブースのみの参加だけでもかなりの見応えがあるので、オンデマンド配信がもう少し充実すると安心できる。
※	オンライン参加でしたが、ほとんどの口頭発表をトラブルなく聴講でき大変ありがたく感じました。ポスターに関しても、オンラインポスターセッションを設ける試みは現地参加しない人間にとってかなり便利だと思います。一方で、オンサイトのポスターを見られなかったという点は改善してほしいポイントです。未発表データの問題はありますが、すべてのポスターをオンラインで見られるようにしていただくと大変ありがたいです。もちろん規模的にかなり難しいことは承知ではありますが、事前にポスターデータの提出を求めて、特定の時間帯のみで限定的に公開する等の対応をしてもらえるとうれしいです。
※	ポスター会場での、ニオイのする食事の提供は控えるべきではないか。ニオイが凄く、学会として不適切であった
※	ポスター、公募シンポジウム、企業展示に参加しました。いずれも特に不便なく参加できたので今後も引き続き開催していただきたいです。
※	所属が同じ人たちのポスター発表は同じ日にした方が良いと思う
※	ポスター発表の時間をもう少し長くしてほしいです。また、発表に間に合わず、後から見ようと思っていたポスターが多くあったのですが、ポスターを撤去するのが早く、見れなかったものがたくさんあったのが残念でした。